



114  
A 131



電 信 秘 號 九 九 格

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
無	ハ	バ	ガ	キ	ヤ	ウ	ヌ	イ	一
ビ	ロ	ピ	ギ	ニ	コ	子	ル	ロ	二
ナリ	ア	ブ	グ	メ	ケ	ナ	ナ	ハ	三
一	ペ	ベ	ゲ	ミ	フ	ラ	ワ	ニ	四
氏	ホ	ボ	ゴ	シ	ル	ム	カ	ホ	五
メ	我	ダ	ザ	ヒ	エ	ウ	ヨ	ヘ	六
ヨリ	君	ヂ	ズ	モ	テ	レ	タ	ト	七
ニテ	彼	デ	セ	セ	ア	ノ	レ	チ	八
マデ	有	ド	ブ	ス	サ	ク	ソ	リ	九

ト  
タ  
タ

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

Handwritten Japanese text on a separate sheet of paper, including a vertical signature and other illegible characters.

用例

11, 24, 34, 77, 35, 14, 31, 51, 84, 84, 51, 37, 98, 38, 76, 37, 81, 37  
 12, 17, 42, 13, 88, 14, 22, 11, 47, 11, 62, 91

右ノ格ハ九々ノ数ヲ出テズノ清濁ノ聲全備シ更ニ三字言ナ一辨縮  
 タルモ有之故之ヲ用テ電報ニ掛ル時ハ本例ノ如ク配位均齊簡明ニ有之  
 多少ノ煩ヲ省ククニナラズ直代モ隨テ減シ接讀者モ亦解シ易ク可シ  
 事亦又ハ辨易クモ妨無シ今度ノ役ニ此法ヲ御採用有之度候也

七年四月十日

全權公使柳原前光

大正十一年四月  
 大隈侯爵郵務贈

遣外公使國務電信秘號同書

一遣外公使國務之國事關係也

電報秘號左之秘

電信之往復大ニハ可宜存候

		一	二	三	四	五
〇	ハ	キ	ヤ	ツ	ヌ	イ
零	零	ノ	マ	子	ル	ロ
		ミ	ケ	ナ	ラ	ハ
		シ	フ	ラ	ワ	ニ
		ヒ	コ		カ	ホ
		セ	ク	カ	ヨ	ヘ
		セ	テ	ン	ク	ト
		ス	ア	ノ	レ	チ
			サ	ク		ル

右ノ秘號ヲ以テ報知ノ一例ヲ左ニ示ク

- 一四十七字ヨリ(イ)エノ三字ヲ除キ(ニ)
- 一(イ)ハ一行ノ一タルヲ以テ十一トス(ハ)五行ノ
- 一濁音点ハ(ニ)イヲ進メ(ロ)点ハ一行ヲ進ム
- 一真ノ數ハ言語ニシテ

14  
A-133

	V	T	S	R	ㇿ	ノ	
	キ	ヤ	ム	子	ニ	一	
一	高雄丸	陸軍省	取置候	<small>おれ電燈 のう下き</small>	ヌ	ノ	一
二	河村海軍省	海軍省	<small>お承可 と下き</small>	<small>おれ下き おれ下き</small>	ル	口	二
三	通電可取斗候	支事局務	先達テ	<small>おれ下き おれ下き</small>	ヲ	ハ	三
四	便ヲ以テ	陸路郵	鎮熊本	<small>おれ下き おれ下き</small>	ワ	二	四
五	輸出差出書	米國郵船	鎮臺	<small>おれ下き おれ下き</small>	カ	ホ	五
六	置有之度	係相渡	品川丸	可否	ヨ	へ	六
七	有之	其地置收	瓊浦丸	縣廳	タ	ト	七
八	次幸便	豐寫丸	三麥商社	笠野集善	レ	千	八
九	兵營			大倉喜八郎	ソ	リ	九

增補改正暗号

大正十一年四月  
大隈侯爵寄贈

お用ひさる方と申すは此必考の政庁に信局も知るを禁す

一右数字のなる電信往復の代わりの付秘密の格の外ハ

25	34	44	17	43	11
25	11	17	19	51	53
49	11	28	31	14	47
29	12	21	37	1800	
31	38	26	18	4500	
15	36	31	25	42	31
22	1600	39	27	12	

カラフト、ケイカイ、トリキメ、セイキウ、  
ニテソロ、キンゲツノカチ、ゴホウ、ツカマシ  
バクソ

增補改正暗号

	V	T	S	R	Q	P	O	N	M	L	K	J	H	G	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	キ	ヤ	ム	子	ツ	レ	夕	ヨ	カ	口	ヲ	ル	又	リ	ト	へ	ホ	モ	ロ	イ	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
一	高雄丸	陸軍省	取斗	昨日	赤松	打沈	平定	破談	分捕	攻撃	海軍	大砲	高砂丸	文那	事務局長	本朝	東京	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
二	河村海軍省	支事	先達	近日	福島	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	
三	通電	先達	先達	近日	福島	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	龍驤	
四	陸路	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	
五	米國	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺	鎮臺
六	置有	品川丸	可否	差支	尤甚	書翰	返翰	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	病院	
七	其地	瓊浦丸	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳	縣廳
八	幸便	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸	豐島丸
九	兵營	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	三菱	

大正十一年四月贈